

第12回 読書感想文コンクール

あなたの感想文が本になります！

募集要項

1 『安達としまむら』 入間人間

授業をサボり気味のしまむらと、不登校の安達。
微妙な距離感だった二人は徐々にひかれあっていく。
地方都市の女子高生の日常を描く。

2 『いじめの構造

—なぜ人が怪物になるのか』 内藤朝雄
誰でも多かれ少なかれ体験する学校の集団生活を
例題として、人類の普遍的な欠陥を考えることができる。
それに対する対策も。

3 『ゴドーを待ちながら』 サミュエル・ベケット

ゴドーを待ち続ける二人の登場人物。
そのたわいない言動を通し、人間や社会について
考えさせる「不条理」劇の代表作。

4 『殉教—日本人は何を信仰したか—』

山本博文
桃山～江戸時代初期、キリスト教弾圧のために命を
落とした四千人の宣教師や日本人たちの信仰とは？
数々の史料をもとに考える。

5 『その情報はどこから？

—ネット時代の情報選別力』 猪谷千香
災害、選挙、流行現象…。ネットに流れるさまざまな情報の
つくられかたを知ったとき、あなたの行動は変わる？
変わらない？

6 『チリの地震—クライスト短編集』

ハインリヒ・フォン・クライスト
1647年のチリの大地震を素材にした災害文学の原点。
神への信仰をめぐる論争を引き起こしたリスボン
大地震も背景にしている。

7 『バルザックと小さな中国のお針子』

ダイ・シージエ
文革で農村に配属された知識青年が、禁じられた
外国小説を手に入れ、村の少女に読み聞かせる。
書物のもつ力が人生を変えていく。

8 『幼少時代』 谷崎潤一郎

江戸の面影を残す明治の東京下町に幼少期を
過ごした作者が、芝居見物・少年時の読書など、
豊かな思い出と愛着をこめて描く回想。

9 『よるのばけもの』 住野よる

毎日夜になると化け物に変身してしまう高校生の
僕が、ある夜中、学校の教室に行ってみると、
そこに同級生の矢野さんがいた。

10 『楽園のカンヴァス』 原田マハ

絵画から得た感動をことばで表現する。
ミステリー筋立ての中に美術作品が随所に光る
エンターテインメント作品。

● 応募資格 高校生および社会人

● 応募内容 課題図書から1冊を選び、1200字以内で読書感想文を書いてください。
応募は未発表の原稿で、1人につき1点にかぎりです。

● 応募形式 応募用紙(表紙)は文学部ホームページよりダウンロードしてください。
本文はA4サイズの400字詰原稿用紙3枚以内に「縦書き」で記入のうえ、郵送してください。
原稿用紙は市販のものでも、文学部ホームページよりダウンロードしたものでかまいません。
課題図書名と氏名などは応募用紙に記し、原稿用紙3枚中には氏名などを一切記入しないよう
にしてください。
応募作品は返却しません。いただいた個人情報は、本賞選考以外には許可なく使用いたしません。
応募用紙のダウンロードが出来ない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

● 優秀賞 100名(高校生部門、社会人部門あわせて)
賞状ならびに作品集の贈呈、副賞として図書カード3,000円分。
選考結果は、10月上旬、受賞者に郵送し、文学部ホームページに発表します。
優秀者全員の感想文は、作品集「読むことの歓び」として単行本になります。
作品集は受賞者ならびに各高等学校や図書館に寄贈します。
作品の著作権については明治大学に帰属することとします。

● 締切 2020年 8月 3日(月) 消印有効

● 表彰式 2020年11月21日(土) 於 明治大学駿河台キャンパス
※新型コロナウイルスの感染状況に応じて表彰式開催を中止する場合があります。



コンクールウェブサイト



応募および問い合わせ先

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学読書感想文コンクール選考委員会
TEL:03-3296-4180 <https://www.meiji.ac.jp/bungaku/>